

第3学年

Hop! Step! Jump!

文京区立九第中学校

第3学年 学年通信

第10号

令和元年6月7日

～運動会作文特集号～

三年生ならではの熱い思いを込めて取り組んだ運動会。多くのことを学ぶことができたようです。学んだことを活かして、次へと進んでいきましょう。さあ、次は期末考査です！

運動会で得たもの 3年1組 荻原 光希

私が九中の三年間の運動会を通して得られたものは、「クラスメイトとの絆」「三年生としての自覚」の二つだ。

まず、「クラスメイトとの絆」だ。運動会はみんな勝つために、一生懸命になる。だからこそ、クラスメイト同士が衝突し合うこともある。しかし、励ましてくれる仲間がいることや、運動会後の達成感でより一層仲良くなれる。これは、私自身が今年の運動会で体験したことであるからだ。

次に、「三年生としての自覚」である。これは主に組体操の四段タワーで得られた。九中の四段タワーは組体操の花であり、三年生の伝統であるからこそ、初めは失敗が続いたことで、成功への不安があった。しかし、本番での成功を経験したことで、三年生としての自覚ができた。

これらの得たものを糧に残り少ない行事や受験を乗り越え、素晴らしいものにして、残りの九中での生活を一生の思い出にしていきたい。

最後の運動会 3年1組 若色 奈都

「後悔しない」これを自分自身の目標として、運動会に全力で取り組んだ。

最後の運動会は自分がクラスを中心になって成功させたいと思い、運動会実行委員になったもののもちろん不安はすごくありました。しかし、全員が実行委員に協力的な姿勢で取り組んでくれたおかげで運動会を楽しむことができたと思います。

練習では誰一人としてマイナスな発言をすることがなく、話し合いにも全員が参加して意見を出してくれました。そして本番。全員が最後まで諦めずに全力で取り組んでくれたおかげで、練習では一回も勝ったことのない種目で一位になり、優勝することができました。

最後の運動会で優勝できたこと、クラス全員が終始笑顔でいれたことはとても良い思い出です。そして、協力してくれたクラス全員にとっても感謝しています。

九中最後の運動会 3年2組 遠藤 涼

運動会が終わって振り返ってみると、今回が一番楽しい運動会だったと感じた。僕のクラスは惜しくも準優勝になってしまったが、練習でクラス全員が団結出来たことを考えると、心から嬉しい気持ちになれた。そして、クラスが団結して運動会に取り組むことが、優勝することよりも大切だと実感出来た。このことを一番実感出来たのは大ムカデだ。何度も倒れて痛みを伴いながらも必死でたすきを渡してくれた女子。それに応えるために半周以上差をつけられても諦めないで走り続けた男子。これらの男女の団結があったからこそ、クラスが1つになれたのだと思う。優勝出来なかったから悔しいというネガティブな気持ちはない。クラスが団結出来たことを誇りに思っている。

最後の運動会

3年2組 金子 みづ葉

3年生になって、どんなことにも「中学校生活最後の」とつくようになった。そして、私は中学校生活最後の運動会を終えた。3年生の中で2位という結果だったが、中学校の運動会で一番本気になって頑張った。

私が一番頑張ったと胸を張って言える競技は大縄だ。大縄は全員がタイミングを合わせてとばなければ、回数がのびない。午後の競技で、全員疲れているはずなのにひっかかっても、またすぐにとんだ。そして、当然大縄の回し手も体に負担がかかると思う。全員疲れている中でとても頑張った。結果は1組にやぶれ2位。だが、クラスが団結して本気でできたのですごく楽しかった。

中学校生活最後の運動会。色々なことがあり、一人一人気持ちがあると思う。しかし、私は色々なことはあったけれど、中学校の今までの運動会で一番だと言える最高のものになったと思う。

見せるべき姿

3年3組 宮部 泰生

義務教育九年間の集大成だった運動会が終わった。中学校生活での最後の運動会が終わった。結果は負けだった。しかし、負けであったとしても楽しく全力でやることはできたと思っている。

大縄跳びではよい結果を残せたとはいえない。それでも、3年生を勝たせようとしてくれていた1年生のためにも、自分たちのためにも、最後まで諦めずに跳ぶことができたと思う。

全員リレーでは反則をひとつもせず全員が走り切ることができた。試行錯誤を繰り返し、限界まで速くしようとしてくれた実行委員の人たちはクラスのためによく頑張ってくれたと思う。

組体操では前日の放課後になんとか上がった四段タワーを、本番、腰を痛めている人が多い中で一発で成功させることができた。正直なところ、一回の失敗は覚悟していた。本当にみんなよくやったと思う。

親には義務教育9年間の集大成を、後輩には全力であきらめない姿を見せられた運動会であったと思う。

“まだ”ではなく“もう”

3年3組 平尾 星藍

「義務教育最後の運動会」運動会前日の道徳の時間、配られたプリントに書いてあった。“まだ中学三年生”と感じていた私に“もう中学三年生”だと感じさせた言葉である。

当日、一・二年生のときと変わらずスタートした運動会。ただ一つ、三年生の表情がどこか変わっているような気がした。きっとそれは、練習を頑張ってきたからこそその自信とやる気があらわれているのではないかと思った。二年前は、クラスで一つの目標に向かうことすら難しかった私たちがこんなに一つになれるなんて。とても嬉しかった。3年生になって初めて、ここまで成長できたのを感じた瞬間だった。

クラス全員で取り組んだムカデ競争。「義務教育最後の運動会」でこの競技でベストタイムを出せたことが何よりよかった。「もう中学三年生だ」ということを自覚し、これからも何事も手を抜かずに取り組んでいきたい。大きな一歩を踏み出したような気がした。そんな運動会だった。

6月25日(火)～27日(木) 期末テストがあります。計画的に学習しましょう!!